



大隈家叔花文書

U 5
5880
1



此文書の大隈家ニ在りし書簡也夫是書死

後未亡人其の教供して世間ニ流布せんことを

要旨一炬ニ附せんとして余ニ表見を徴せんと

余ハ當時恰も其の死の可なりとを謂ひて

切に押し止めの自から其の整理の衝に當るべき

と約し茲ニ一議を得ず、爾来式十大函ニ納

めず書簡と點檢し卷め十數々を呈し

せんが全部を返還し、今も其の如く但れ傳

記の材料とすべし、特、重要のものも随つて

記の材料とすべし、特、重要のものも随つて



(大隈重信侯爵遺書會)

昭和十五年五月三日寄
赤島謙吉氏贈

Handwritten text in a cursive style, possibly a letter or a note, written on a page with horizontal lines. The text is written in black ink and is somewhat faded. There are several red circular stamps or seals at the top of the page, which appear to be official or personal marks. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines.

日名の随つて字千の廻りも衰死千あぬに及い
後史一稿協会の清に依り清と正式次中氏あひの整
理して刊行しつゝあるもの既三冊と出しつゝ此の
刊行文書ハ此の文書と悉くぬれんといふこと
予の自から選擇し且の條記の資料に充てたる
ものも予の比念なき因縁あるものも仍
て散佚を慮り今次集本にて家に花すること
あり

昭和九年二月上浣 小幡廬主人

大隈重信侯傳編纂會
 別紙外務省分受官印
 裁免
 大隈
 美

三條實美手稿

三十三日(五)

按了

別紙外務省受取入内見り也
大隈 敬

(大隈重信侯傳編纂會)

川 藤 藤 藤 藤 藤
M. J. (200)

(大隈重信侯傳編纂會)

様

24

在法國候公使古ピットマン談話
 之換標列紙寫之通以別信報稟者
 此段上中下也
 十二月十日廿五
 井上外務以
 國政府之意來相探了可中設内談情也
 何任之條在改大段故
 元平法志所志之身之而也

(天限重信侯傳編纂會)

大限重信
 天限重信侯傳編纂會

按了

以別信申進下、
 蕭不内条を有り趣を以球島下事を白英譯し
 書類とし持参當地を以英公使より工ド氏
 及信務司より氏等、
 呈不正ありきを附示し且各國公使及法
 國政府之意來相探り可中段内諺有之れ、
 付任其意在也自也、
 而暗有致り事ハ下氏見込をハ失和用鮮也
 元手法正政府之所志、
 毎之而也

(大隈重信侯傳編纂會)

所不能...
 以別信申進下、
 蕭不内条を有り趣を以球島下事を白英譯し
 書類とし持参當地を以英公使より工ド氏
 及信務司より氏等、
 呈不正ありきを附示し且各國公使及法
 國政府之意來相探り可中段内諺有之れ、
 付任其意在也自也、
 而暗有致り事ハ下氏見込をハ失和用鮮也
 元手法正政府之所志、
 毎之而也

(大隈重信侯傳編纂會)

此一語之得... 海島之... 區名... 及... 歸... 正...

所不能... 歸... 正大公明... 正大公明之處... 歸... 正...

Handwritten text in a cursive style, arranged in vertical columns from right to left. The text is mostly illegible due to fading and blurring.

如中事多々先國政府ノ不快下リ可杯他公
便ノ評説有之皆中ピットランド氏此説多ク地球
島所属ノ事存分ニ異論ヲ無シ小得長全島
占清小ノ貢獻冊封ニ因有之ハ事ヲ示去リ
亦何ノ最前一層 括小川合ハキニ廢藩ニ
及ノ事ハ則公正ニ處分ニ其之杯申出ル存ピト
コレ氏ニテ被島函屬ノ事ハ即西同ニ陰陽ナリ
其日本政府ニハ新就我處有ト信証有之
般ノ事分ニ及ノ事ニ有之且英政府ニテ其儀
トテ不認証ヲ致去リ有之即先年同政府台廢

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

島龍衣聲、除流証船、燒燬、是を戰利と見做す、四論既、台湾事件、は清國政府、府、賑、郵、金、を、意、す、折、柄、に、憑、單、を、ウ、エ、ド、氏、に、下、す、平、に、係、り、し、琉、球、を、以、日、本、所、屬、と、認、明、文、明、文、明、之、條、辯、駁、及、し、同、氏、に、其、條、明、文、明、之、事、に、記、憶、不、致、杯、通、辭、申、出、し、同、其、條、二、以、多、一、の、由、諒、話、し、以、牙、委、交、す、カ、ソ、カ、者、等、一、同、人、歸、朝、し、上、も、秀、田、の、面、商、示、可、及、儀、ト、モ、同、小、得、共、談、話、し、從、事、中、心、得、也、ト、云、ふ、一、我、銀、貨、法、石、紙、石、通、用、方、ビ、下、ニ、氏、に、其、談、話、總、統、務、

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a letter or official document. The text is written in a cursive style (sōsho) and is contained within a rectangular border.

(大隈重信侯傳編纂會)

駐清國

明治十二年十月七日 特命全權公使大隈重信

外務部并上陸部 敬

Main body of handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the letter or document. The text is written in a cursive style (sōsho) and is contained within a rectangular border.

様了

牛相好、石不認力、變は暇務、
逢家、相畢、徳曼氏、
お信、
曲中、
承、
院旁、
之、
つ、
徳曼、
近、
口、
出、
之、
得、
逢、
、
就、
本、
の、
位、
細

下略、
天照重信侯傳編纂會

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document, written on a grid background. The text is oriented vertically and appears to be a transcription of a document.

大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳編纂會

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document, written on a grid background. The text is oriented vertically and appears to be a transcription of a document.

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a journal entry. The text is written vertically in columns from right to left. It appears to be a mix of Chinese characters and possibly some Latin or English words, though they are difficult to decipher due to the cursive style and fading. The text is contained within a rectangular border.

(大隈重信侯傳編纂會)

十月三日

後鴻也

好音

十月五日

追高叶山保菴子下
自希一之

开上盟之其也

因下

璣

Background text visible through the paper, including the date '十月三日' at the top and various vertical columns of characters.

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically and is mostly illegible due to fading and the style of the script.

(大隈重信侯傳編纂會)

別段右に、關係なき、る、有、核、可、該、証、に、
可、も、多、し、ト、中、の、し、之、外、に、尋、問、し、し、
之、有、は、方、右、に、語、多、不、中、南、に、
只、今、迄、に、毎、逢、に、彼、方、も、亦、出、
島、可、仲、に、該、友、に、下、中、に、
し、之、の、多、し、ト、中、の、し、之、外、に、尋、問、し、し、
及、る、し、可、有、也、核、可、該、証、に、
該、友、に、下、中、に、
之、其、可、有、也、核、可、該、証、に、
之、其、可、有、也、核、可、該、証、に、

(大隈重信侯傳編纂會)

行スルとの中分者之也我畢德曼氏は九三六
 不尤も不考探子おるが付同人は去球島
 一件迄来我政府に支取下約束し一書し可
 能之に付挨拶に不及不却在年之支取に而
 属と心得り一有否公心其来多中具朝貢
 等支取に而球人に詐欺騙し一事ハ非我邦に
 知云と中間を多事よりつぎ歸跡天津、而季
 章一途心得り付以等事を得得る、而より
 一さし中其後爰元ハ滞長、而も其子格あり
 乃之同有、而明後日、而初出、而天津、而赴、而支

(大隈重信侯傳編纂會)

行スルとの中分者之也我畢德曼氏は九三六
 不尤も不考探子おるが付同人は去球島
 一件迄来我政府に支取下約束し一書し可
 能之に付挨拶に不及不却在年之支取に而
 属と心得り一有否公心其来多中具朝貢
 等支取に而球人に詐欺騙し一事ハ非我邦に
 知云と中間を多事よりつぎ歸跡天津、而季
 章一途心得り付以等事を得得る、而より
 一さし中其後爰元ハ滞長、而も其子格あり
 乃之同有、而明後日、而初出、而天津、而赴、而支

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document, written vertically on the right page.

(大隈重信侯傳編纂會)

兩聲信... 傳信... 一併... 日... 下... 同... 先... 同... 同...
(外務省) 別冊中云云... 甲令三ノ方之極點下ヤ上ニテ

先公用事之有礙者乃以此法之也
十月五日
再恐時法係番事之次第之因外務之別之巨
細之私信差出之序之書面之傳覽之形之山
田之部之序之書之傳聲之形之

(大隈重信侯傳編纂會)

山田

山田

春故望望

璣

中

相復

先公用事之有礙者乃以此法之也
十月五日
再恐時法係番事之次第之因外務之別之巨
細之私信差出之序之書面之傳覽之形之山
田之部之序之書之傳聲之形之

棋

(天照重信侯傳編纂會)

自盛國之考稱子孫有包其誠想以
 聖上之皇極能為也迎奉在焉
 將又考之爾其健供奉一統無異
 由杯以成子之皇極於南西北
 西皇后宮在始明宮深宮若以極能
 道中事也隨而極者以由國一何無異
 其亦有矣子之皇極於南西北
 石瓦包其也也視其也也別其也也
 其同也方之可看自之也

大歌以極能...
 右以極能...
 七徽...
 二全...

Handwritten Japanese text in cursive style, consisting of approximately 15 vertical columns of characters.

(大隈重信侯傳編纂會)

二得守政一以同慶... 大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳

様了

由紙込取高書信一件、百外務以并海
 陸大花女官事
 由勅命案子稿内、於浦内使、年々
 作文有、探取彩鳥、一西口中、不不
 途委、是祀神作、標作鳥、百込取内
 中力、於右決定、付多古、多少、刀身、之、可
 有、之、白、右、花、大、捕、是、下、右、馬、右、内、流
 有、之、探、取、鳥、是、下、右、主、中、由、共、採
 之、之、五、書、之、決、議、之、大、子、刀、身、之、事

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or document. The characters are in a cursive style.

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, including the characters '大隈重信侯'.

(大隈重信侯傳編纂會)

様了

活法諸方其、然其、
 檜場村、小莊を、
 大使、
 大隈、
 二件、

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳

(大隈重信侯傳編纂會)

找
了

今般民費賦課法公布案ニ付議場ニ用カレ地
 方官某々集會逐條決定ニ此余政府ノ裁ニ
 因リ公布セントスルノ手續ニ至ル一此際ニ尙リ一二
 鄙言ヲ以テ其既ニ議決セルヲ余ヲ動ス不能ハ
 小官自ラ能ク知ル所ト雖トモ苟クモ任テ地方ニ蒙
 リ行政ニ却ニ位ケル者十万人ノ民ヲ負荷スル上
 ハ黙シテ止ムハ中ニヨラス况ヤ彼ノ議會ナルノ決定ニ不
 動ノ規則ニ無シ此後偏ニ政府ノ決ニ因ル者ニ於テヤ
 夫今般民費賦課ノ要點ヲんヤ其要目ヲ分別詳明

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is faint and difficult to read.

蓋し既務ノ繁簡ヲ同ニス既費ノ多寡ヲ者し不
全管内ヲ以テ一社会トシ利害公同亦其既別ヲ同
ハス簡便ト云フ可レナリ然ル地方ニヨリテ既畫ヲ設
置スル上ハ必ラスヤ其既畫限リ其事務ヲ別々ナル
可^カ形^ノ然^ル而^シ今也則チ區長以下、給科ヲ始メ既
務所ノ費用ニ至ルマテ一ニ全管内割ヲ以テ賦課
シ之レヲ縣廳ニ收入シ而シテ後、函七各既ニ合附セシ
トス恰モ縣稅ヲ以テ支廳及ヒ官吏ヲ設ルニ異ナ
ラス猶全國ノ正稅ヲ以テ各府縣及ヒ吏員ヲ
置ガ如シ是實ニ行政區域、制度ニ關係シ政

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

事上尙厯千里之憂生之所ナレテ以テ苟ニ輕
易視ス可クナレモナリ夫既盡ク分ツテ之レニ
長ヨ置キ區務所ヲ設ケルノ主意ヲ早完スレハ偏
ニ其區人民ノ便利ニ因リ其安全ヲ保護スルニ出
テ敢テ他院ニ同涉スル者ニアラス故ニ甲院ノ失錯
ハ則チ乙院ノ戒ム所ナリ而シテ乙院ノ得計ハ則チ甲
院自ラ顧ルノ鑑トナル各院ノ得計失錯アルヲ以テ則
競立ノ念ヲ生レ之レヲ積ニテ終ニ自主政事ノ域ニ到
ルハ蓋シ分權政事家ノ目的トスル所ナリ然リ而シテ
因務者議案ホ如キハ則チ全ク此ニ反シテ院務所又

(大隈重信侯傳編纂會)

日新不廢... 國之強弱... 政治之進退... 實由於此... 故欲求國之強... 必先求政治之進... 而政治之進... 實由於民之智... 民之智... 實由於教育之普及... 教育之普及... 實由於經費之充足... 經費之充足... 實由於稅收之增加... 稅收之增加... 實由於商工之發達... 商工之發達... 實由於交通之便利... 交通之便利... 實由於道路之修築... 道路之修築... 實由於政府之補助... 政府之補助... 實由於法律之保障... 法律之保障... 實由於司法之獨立... 司法之獨立... 實由於行政之效率... 行政之效率... 實由於官吏之廉潔... 官吏之廉潔... 實由於國民之愛國... 國民之愛國... 實由於民族之團結... 民族之團結... 實由於宗教之和諧... 宗教之和諧... 實由於風俗之淳樸... 風俗之淳樸... 實由於禮儀之整肅... 禮儀之整肅... 實由於道德之高尚... 道德之高尚... 實由於精神之奮發... 精神之奮發... 實由於意志之堅定... 意志之堅定... 實由於行動之果敢... 行動之果敢... 實由於犧牲之精神... 犧牲之精神... 實由於奮鬥之勇氣... 奮鬥之勇氣... 實由於不屈之毅力... 不屈之毅力... 實由於無畏之決心... 無畏之決心... 實由於百折不撓之精神... 百折不撓之精神... 實由於一往無前之勇氣... 一往無前之勇氣... 實由於視死如歸之精神... 視死如歸之精神... 實由於捨生取義之勇氣... 捨生取義之勇氣... 實由於臨危受命之精神... 臨危受命之精神... 實由於赴湯蹈火之勇氣... 赴湯蹈火之勇氣... 實由於粉身碎骨之精神... 粉身碎骨之精神... 實由於在所不惜之勇氣... 在所不惜之勇氣... 實由於視死如歸之精神... 視死如歸之精神... 實由於捨生取義之勇氣... 捨生取義之勇氣... 實由於臨危受命之精神... 臨危受命之精神... 實由於赴湯蹈火之勇氣... 赴湯蹈火之勇氣... 實由於粉身碎骨之精神... 粉身碎骨之精神... 實由於在所不惜之勇氣... 在所不惜之勇氣...

(大隈重信侯爵編纂)

庶民ヲ視ル猶政府ノ各府縣及セ吏員ヲ處スルニ異ナラス是則テ集權ノ計ヲ占ムルニ便ナルヲ覺見フトイハ氏抑モ分權ヲ目的トスルニ至ツテハ其相距ツル蓋シ益遠シ雖則小官決テ世間ヲ守常民權者流ニ非ス豈一朝慮カニ自主政事ヲ開クヲ以テ他ノ人民ニ望マレヤ又豈ニ之レヲ其計ヲ得ル者トナシヤ但其目的ヲシテ今日ニ基ヒシ而シテ其旨意ヲシテ他日ノ障害ヲ喚ビシメサルヲ要スルニ在リ
以上陳スルカ如ク地方ノ成立ニ關シテ其不可ナレ此ノ如ク然リ而シテ國務議案ノ重要ナル其成立ノ論ハ暫ク第二

(大隈重信侯爵編纂)

第一ノ地位ニ據キ專ラ費用畧ノ一事ヲ以テ第一ノ地
 位ニ居ラシムトイハレ然レハ其成立ニ害アル者ハ務メテ
 之ヲ避除セサル可ラス況ヤ其節畧者ニヨイテモホリ其
 評ヲ得ル者ニアラザヤ試ニ内務省ノ議案ニ據リ
 其神奈川縣中從來ノ費額ヲ算スルニ総平均平
 均富者一戸ニ付テ圓三拾五匁余ニ當リ而シテ総
 大屋敷廿三大屋敷ニ就キ其面毎ノ比較ヲ算スル
 ニ総平均平均之額即チ圓三拾五匁余ニ起リ過レ
 ル院ハ僅カニ五匁ニ過キス其餘ハ悉ク平均ノ額ノ
 内ニ在リ然ハ則チ彼ノ五匁ハ管轄内平均ノ因リ其

(大隈重信侯傳編纂會)

第一ノ地位ニ據キ專ラ費用畧ノ一事ヲ以テ第一ノ地
 位ニ居ラシムトイハレ然レハ其成立ニ害アル者ハ務メテ
 之ヲ避除セサル可ラス況ヤ其節畧者ニヨイテモホリ其
 評ヲ得ル者ニアラザヤ試ニ内務省ノ議案ニ據リ
 其神奈川縣中從來ノ費額ヲ算スルニ総平均平
 均富者一戸ニ付テ圓三拾五匁余ニ當リ而シテ総
 大屋敷廿三大屋敷ニ就キ其面毎ノ比較ヲ算スル
 ニ総平均平均之額即チ圓三拾五匁余ニ起リ過レ
 ル院ハ僅カニ五匁ニ過キス其餘ハ悉ク平均ノ額ノ
 内ニ在リ然ハ則チ彼ノ五匁ハ管轄内平均ノ因リ其

此の如く試みれば、其の損失は、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、
 二十一、
 二十二、
 二十三、
 二十四、
 二十五、
 二十六、
 二十七、
 二十八、
 二十九、
 三十、
 三十一、
 三十二、
 三十三、
 三十四、
 三十五、
 三十六、
 三十七、
 三十八、
 三十九、
 四十、
 四十一、
 四十二、
 四十三、
 四十四、
 四十五、
 四十六、
 四十七、
 四十八、
 四十九、
 五十、
 五十一、
 五十二、
 五十三、
 五十四、
 五十五、
 五十六、
 五十七、
 五十八、
 五十九、
 六十、
 六十一、
 六十二、
 六十三、
 六十四、
 六十五、
 六十六、
 六十七、
 六十八、
 六十九、
 七十、
 七十一、
 七十二、
 七十三、
 七十四、
 七十五、
 七十六、
 七十七、
 七十八、
 七十九、
 八十、
 八十一、
 八十二、
 八十三、
 八十四、
 八十五、
 八十六、
 八十七、
 八十八、
 八十九、
 九十、
 九十一、
 九十二、
 九十三、
 九十四、
 九十五、
 九十六、
 九十七、
 九十八、
 九十九、
 百、
 百一、
 百二、
 百三、
 百四、
 百五、
 百六、
 百七、
 百八、
 百九、
 百十、
 百十一、
 百十二、
 百十三、
 百十四、
 百十五、
 百十六、
 百十七、
 百十八、
 百十九、
 百二十、
 百二十一、
 百二十二、
 百二十三、
 百二十四、
 百二十五、
 百二十六、
 百二十七、
 百二十八、
 百二十九、
 百三十、
 百三十一、
 百三十二、
 百三十三、
 百三十四、
 百三十五、
 百三十六、
 百三十七、
 百三十八、
 百三十九、
 百四十、
 百四十一、
 百四十二、
 百四十三、
 百四十四、
 百四十五、
 百四十六、
 百四十七、
 百四十八、
 百四十九、
 百五十、
 百五十一、
 百五十二、
 百五十三、
 百五十四、
 百五十五、
 百五十六、
 百五十七、
 百五十八、
 百五十九、
 百六十、
 百六十一、
 百六十二、
 百六十三、
 百六十四、
 百六十五、
 百六十六、
 百六十七、
 百六十八、
 百六十九、
 百七十、
 百七十一、
 百七十二、
 百七十三、
 百七十四、
 百七十五、
 百七十六、
 百七十七、
 百七十八、
 百七十九、
 百八十、
 百八十一、
 百八十二、
 百八十三、
 百八十四、
 百八十五、
 百八十六、
 百八十七、
 百八十八、
 百八十九、
 百九十、
 百九十一、
 百九十二、
 百九十三、
 百九十四、
 百九十五、
 百九十六、
 百九十七、
 百九十八、
 百九十九、
 百十、

(大隈重信侯傳編纂會)

利益を得ルモ残り十八大院ニナリテハ其損益蓋シ可知ナ
 リ且各院毎々其費額ヲ負行セル下管内一般ノ負行
 ヤシル下而ナリ其費用ノ總額ヲ減スルノ理ナレ其
 管内ノ平均ヲ得ル下云フニ道キス然而テ其平均ノ
 額リルヤ管内ノ院即チ費額ノ多キモノハ其利益蓋シ受
 ルモ僻院ノ院即チ費額ノ少キモノハタトハ富者ノ
 敷ノ割合アル下モ却テ其損害ヲ蒙ルに至ルヤラハ故
 徒ラニ管内平均ノ算ヲ以テ其所得ルモノトナスハ則
 チ内務大臣又ハ縣令ノ臆馳ヲ説リモハシレテ未ダ院
 民ノ腔衷ニ刻ラス迂亦太クシト云可シ

月一始美... (Faint handwritten text in vertical columns)

(天照重信侯傳編纂會)

議者又云リ既吏給料以下ノ費用ヲ各院毎ノ負
荷セシメハ即千堤防道路諸費等モ亦自ラ院毎ノ負
荷也ヤル可ラズ也。且皇能ク其民力ニ堪ヘシヤト云
レ所謂民費ト稱ス可キ費額ヲ總括シテ之レヲ算
スレハ既吏以下ノ給料其上位ニ居リ堤防道路諸
費之レニ次リ是ヲ以テ既吏ノ給料等既畫限リニ
算セハ堤防道路諸費亦然リト云フノ意ナリル也。然レ
ニ既吏ノ給料ト堤防道路諸費等ハ自ラ其性質
ヲ異ニス且實際其水災等ヲ蒙ル院ノミニシテ
其費用ヲ償フニ堪ヘサルハ其ヲ待テ不致ニ防防道路此

其賦課ノ額ニハ
 賦課ノ目録ニ
 賦課ノ標準ニ
 賦課ノ時期ニ
 賦課ノ方法ニ
 賦課ノ管轄ニ
 賦課ノ徴収ニ
 賦課ノ免状ニ
 賦課ノ異議ニ
 賦課ノ執行ニ
 賦課ノ罰則ニ
 賦課ノ雑則ニ

(天保重信侯傳編纂會)

費等ニ限り全管内割又ハ夫々等級分々分課ス
 ル等別ニ一定ノ法あるヲ起スカ或ハ地方ノ叶議ニ附
 スルヲ其宜キヲ制スル何ノ難キヲカアラン而シテ何
 俛更修科等ト一掃ニセサル可ク下トセニ且其レ今般
 ノ議案タルヤ本年一月二日ノ公布ニ基キ民衆
 賦課法ヲ^{主下}スル者ニシテ即チ地價トシテ數トシ
 分賦スルヲ要スルニ止ル然則チ第一二節ノ如キ全
 管内又ハ一院割等ノ一定ナル法則ヲ布告セサルレハ
 其後果チ得ガルモノニ非ズ其賦課ノ方法可失
 セラレバ先縣共其時極ト民情トニ因リ全管内

(天保重信侯傳編纂會)

其況味ハ如何ナリト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ
其國情ハ如何ナルカト云フニ其國情ハ如何ナルカ

割又ハ大隈限リ適宜ニ之レヲ裁制シテ妨ケナカルベ
レ故ニ小倉ノ企望スル所ハ各縣共ニ且リ其費額
ノ目ヲ詳明ニ院別ニ令官内割毎院割等ノ
別ヲ分テ即チ警察警察ノ如キハ宜シク之レヲ令官内
割トシ院更修科ノ等ノ如キハ宜シク之レヲ毎院割ト
シ而シテ堤防迄取費ノ如キハ則チ別ニ管内ノ叶議ニ
附シテ適宜之法ヲ得ベレ而シテ之レヲ賦課スルニ至
ツテハ則チ之レノ方法即チ地租ト戸數トニ賦課スレハ
更ニ障害ヲ其方法ニ與ヘス是レ論ノ最モ尙易ナルモ
ノナリ然リ而シテ議者則チ偏ニ原案ノ動カス可カラズ

之レテ至盛旺盛ナリシノ而メ人民益其幸福ヲ得レリ
 期スルノ微意ニ出ツルノミ柳伯新以來圖治大切其
 地方、於テ釐革セラル所モ亦太ク少トモス而テ
 今般ノ議定、地租改正ノ次トナス豈輕易視ス可キ
 モナランヤ況ヤ今國歩ノ艱難ニ臨ミ人民ノ
 肥瘠又シク已ニ攪乱スルハ際ニ大改正ヲ為サレ
 ト欲スルハ實ニ止ムヲ得可カラサルニ出ガレ可ク而
 今般ノ議定案ノ如キ其条中不得止トナサ、ル者亦
 多シ伏テ願クハ廟堂深ク之レヲ思ヒ其様ヲ觀テ
 其宜シキヲ圖ルアラン、一、不顧潛越敢テ鄙言ヲ

(大隈重信侯傳編纂會)

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the title (大隈重信侯傳編纂會) and the start of the main text.)

其旨は... 大限重信侯傳編纂會

(大限重信侯傳編纂會)

上ル恐懼自悔

附言横濱ハ固ヨリ却村ノ庵ト分明ニ別々ガシテ得
不此議尚ホ未リ大隈議長裁決ヲ得テ不故、本支
録ノ議ハ却村ノ庵ニ執キ之レヲ論不伏テ請フ之レヲ諒
セラル、ヤ
三條大政大臣 敬
山石倉右大臣 敬

5157 4,673
283 211
844 50

找丁

大英大北各報
 十廿日已上物
 大英大北各報
 西報云、北軍回國、其時、英軍出、
 時、在俄軍、在北軍、時、在北軍、
 英、在北軍、在北軍、英、在北軍、
 人、在北軍、在北軍、英、在北軍、
 英、在北軍、在北軍、英、在北軍、

(大英重信侯傳編纂會)

清國事情、儀上中
 鎮台、ハネシ、氏、ハ、北軍、得、
 其、書、之、因、レ、ハ、北軍、形、勢、甚、
 今、ノ、皇、ハ、過、激、黨、ノ、巨、魁、ト、シ、
 帝、ノ、父、ハ、過、激、黨、ノ、巨、魁、ト、シ、
 可、憐、慕、親、王、ハ、在、レ、
 右、道、激、黨、ノ、特、ニ、
 し、且、他、ノ、若、國、ヲ、モ、敵、視、ス、
 何、ノ、舉、動、ヲ、為、ス、ヤ、モ、知、ル、
 何、ノ、舉、動、ヲ、為、ス、ヤ、モ、知、ル、

第一條 凡在...
第二條 凡在...
第三條 凡在...
第四條 凡在...
第五條 凡在...
第六條 凡在...
第七條 凡在...
第八條 凡在...
第九條 凡在...
第十條 凡在...

(大隈重信侯爵編纂)

大隈通清國... 報道有之... 付以... 官院省使府縣

十二年四月... 外務口井上馨

古政大臣三條實美... 三條實美

長連... 松村文一... 縣平民服國巧一... 壽富大名即時能輔

明治二十... 大政大臣三條實美

找丁

(Faint handwritten text in a grid format, likely bleed-through from the reverse side)

(大隈重信侯傳編纂會)

官院省便府縣
 今十四年前八時多議大久保利通參納
 之申途上三經先賊之重創之員也
 薨去其係以与如運其事
 但先賊石川縣士族鳴田一節本乙菊
 長連豪松村文一同縣平民服田巧一
 鳴根縣士族淺井壽篤大名即時就補
 傳小事
 明治十七年五月十日
 大政大臣三條實美

找

明治十四年三月十日
 大政大臣三條實美
 大隈重信
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

布哇國白王帝乘二十六日延達館御出
 二月明十五日午後第三時至五時止
 因二回館、各向若刺可差出以片及通
 達候也

明治十四年三月十日
 大政大臣三條實美

參議大隈重信 啟

進下出發者日新橋、於奉送、向不及其
 儀也

子

大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳

(大隈重信侯爵傳編纂會)

來此古二時故澤全權公便葬儀之節
實美會葬可致以各名者勅任官二於其心
同様金葬坊也少可也或與相考其或
得也。交如此也也
十月四日 太政大臣 實美
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳
大隈重信侯爵傳

大隈重信侯爵傳

實美

找子

以說九

此後... 大限重信侯傳編纂會

大限重信侯傳編纂會

十四日

大限重信侯傳編纂會

大限重信侯傳編纂會

四展

呂... 賜金... 五千... 三千... 賜... 五千... 三千... 賜... 五千... 三千... 賜...

二伸... 亦... 其... 亦... 其...

方隈... 議... 傲

實美

大限重信侯傳編纂會

北歐の歴史

林 謙

北地 Kings 等

二重地帯に於て、政治的、経済的、文化的

発展を遂げし過程

の一端を、北地史の四編に於て、概観せしむ

る。其の目的は、北地史の概観を、北地史の

概観に於て、北地史の概観を、北地史の概観

に於て、北地史の概観を、北地史の概観に

(大隈重信侯爵編纂)

四展

向者、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

於て、北地史の概観を、北地史の概観に

(大隈重信侯爵編纂)

残了

向者之供吾為健子豫勵勤方之玉
 其抑實札之其其害謀外亦為實今日之
 大憲以之其初其系一之可救之其之其
 國家之生其其之其係其之其之其之其
 時之於之之其之其之其之其之其之其
 了可其其心者其其之其之其之其之其
 不見其之其之其之其之其之其之其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其
 其其其其其其其其其其其其其其其

(大隈重信侯傳編纂會)

已歟

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a vertical column, likely a letter or document, written in a cursive style.

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a vertical column, continuing the letter or document.

六月十日

大隈氏部大輔殿

Handwritten text in a vertical column, likely a postscript or additional notes.

核了

東京府知事人櫻... 井上... 尤之... 上之... 取服... 其... 可... 二... 此... 中...

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
 櫻井...
 大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a speech or document. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but appear to be in a traditional Chinese script.

(天照皇御神代卷)

し至分...自然又不服...
大臣全神...
内務...
心相...
名中...
大隈 敬

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or document. The characters are in a cursive style.

(大隈重信侯傳編纂會)

換無主之元其官、香任、
於以上見、
中、
迫切之場、
到、
仍要務止、
皆、
實、

皆、
實、

找

西以右別我之由備也。同以彼相由而在此台情
 亦多書付情書出來。下子之通一為也。及
 小姑之系中殖民略也。事ハ是也。評議
 之決議也。中ニ之是之本在之。舊之評議
 中其今今之評議也。在之。如都令之在也。
 尤在評議之為。彼之實際之。常之。其舊民
 懷撫之。都令及之。其之。其之。其之。
 十之。別如評議之。及之。其之。其之。
 同罪一途之。其之。其之。其之。其之。

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
 (大隈重信侯傳編纂會)

(大隈重信侯傳編纂會)

残了

彌江修方與以從之文部省定額一我
 未決定之時有年以前有文部以之頗
 困惑心配之趣數々催催之方其極實を
 承へば其のありに或と之をある全體を
 按之る所動動も不待論なり帝於正院
 之田共論無之乎之由は唯入費出方に御
 合之由は是因循ありて其の甚深牙
 舌に不辨人々有稱之疑惑之疑を以て或正
 院を疑大元を誹謗之矣此人心上之關係

大元之復原
 (大元重信侯傳編纂)

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

明治五年

不申有種之物議也
際柳佐至極尚宜勘考
内之得真意否也
五月廿九日

大隈重信侯

内展

實美

Additional handwritten text in vertical columns, possibly bleed-through or a separate entry.

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or official document. The characters are in cursive style.

(大隈重信侯傳編纂會)

二 鐵渴も差迫一箇之故ハ多相違越ニ山官
別波ノ誰儀有之ハ 子ニ由諸柄ノ我ニ付私
情ニ涉リハ 柄ノあるハ其ノ故ノ困迫ノ情
實ニ難默止以書中ノ陳ノ條篤勅并指之
事ト要申而已如ク不聲

九日七

明治十五年十一月九日

大隈大輔 敬

三 内矣了矣

内申

(大隈重信侯傳編纂會)

按了

大隈重信侯傳編纂會
明治十年十一月九日
三條太政大臣
大隈參議啟

(大隈重信侯傳編纂會)

今般北陸東海兩道

師巡幸 祓為滿幸日

還幸 存而ハ供奉ノ面々、明十日ヨリ一

十日ノ間休暇ヲ賜リ候條此旨及以奉

候也

明治十年十一月九日

三條太政大臣

大隈參議啟

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written vertically in columns from right to left.

(天保重信侯傳編纂會)

村の理解を本迄多御村修理に伏し以て
二ある所の難致を左に下穩安たること
お満の中と御左に多を強中言方と
二月法に多を二海りたるも意外に混雜
之に到り并上し如字多括二あるも余程
奇州左記の二奴、平と頗る慮付れ何
とら良果、以てしめ、大率と御惣念
之餘御意を左に尚言果有しに
為すこと不備

二件榎村の今夕明日の事は左に右に

(天保重信侯傳編纂會)

找

弥悟誤 在學然八極密中 西以爲儀
 義歸者 其以爲是 以申出 有回人歸
 困見念 其承服 高格 亦不平 以爲之由 却
 內極 困迫 之 亦不 止 有 之 數 百 辭 表 之
 善 亦 以 之 口 氣 氣 之 有 之 實 心 記 住 其
 自然 何 之 亦 止 難 有 極 之 無 之 亦 是 下 究
 是 後 彼 是 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 必 苦 極 之 有 之 之 思 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
 密 配 慮 均 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
 西區第一書院
 大隈重信侯傳編纂會
 西區第一書院

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

於此世一平也 誠而を以て中乃其勳考有之
為也

十月廿五日

二仲先の寸刀山内実重漢典編纂子、
恩賜の寸出之子の奈言有也、以別而却
左有、の寸年、当年中、賜、探有也、子
有、於直於刀

四月廿五日

大隈重信

内披

内実重

実美

持了

四
五

大隈大輔	敬	實美
二伸	明後口面上	あゝ二市述也
四月廿五		
大泉南部金澤等	厭納金一儀	呈下
始議論之趣	一理有之	於得兵政府之
識大先日	未段一討論	力之
亦宥免被作付	於方可	然与決議
此与相心得	於標致	而於仍
交如水	也	

(大隈重信侯傳編纂會)

平

大隈重信	敬	實美
二伸	明後口面上	あゝ二市述也
四月廿五		
大泉南部金澤等	厭納金一儀	呈下
始議論之趣	一理有之	於得兵政府之
識大先日	未段一討論	力之
亦宥免被作付	於方可	然与決議
此与相心得	於標致	而於仍
交如水	也	

(大隈重信侯傳編纂會)

大歐大歐一... 張...

1948年...

...

(大歐電信候傳編委會)

一書也... 大歐電信候傳編委會

...

找

德大寺大納言殿
 大隈参議殿
 佐々木参議殿

(大隈重信侯傳編纂會)

二月七日
 德大寺大納言殿
 大隈参議殿
 佐々木参議殿

德大寺大納言殿
 大隈参議殿
 佐々木参議殿

實里大

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

解之難計殆若慮之何事在之乎一兩日
中馬之考慮者多矣書不盡意以得此
大方而已一乃以紙面中乃一圖收必丙丁有
去其標於力多不備

大隈侯之議殿

桓峯隈

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or official document. The text is written in a cursive style.

(大隈重信侯傳編纂會)

明治

五月十日

(大隈重信侯傳編纂會)

今夜
大隈重信侯
定美夫
明十二日
條此
十四年十月十一日
三條太政大臣
大隈重信侯

成

大隈参議殿

三條太政大臣

十四年十月十一日

今般
御巡幸供奉三ノ歸京相成小ノ付
明十二日ヨリ十九日同ノ休暇ヲ賜ル
條此旨及右通達也

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈参議殿
三條太政大臣
十四年十月十一日

(大隈重信侯傳編纂會)

找

大隈重信

三條大隈重信

十月廿七日

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳編纂會

師傳從白子出住長ノ為ノ徳川家
邸也所達出出方ニテ其買上ケル儀
我々通官名御方内儀ニ有ニ徳友ノ
為条所元正ノ系ニ有ニ正正ノ系
有ニ正正ノ系ニ有ニ正正ノ系

九月廿七日

日大 視
實之集

大隈重信

大隈重信

找丁

のり

大隈無識殿	...	五月十日
-------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

Kochi

OK

大隈重信侯傳編纂會

OK

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically in Chinese characters.

(大隈重信傳編纂會)

唯今、より、不置、遷延、知、以、少、外、對、
甚、途、憂、仕、由、得、失、暫、困、是、昨、夜、食、
、力、申、ま、あ、り、了、探、澤、而、所、説、論、者、
、以、探、者、形、中、外、尚、面、上、議、一、可、中、候、
、以、在、候、為、事、一、我、在、以、書、而、中、力、在、希、
、乃、也

十二月十日

實美

大隈重信傳編纂會

大隈公使致電

大隈公使致電 (Faint handwritten text in vertical columns)

(大隈重信侯爵編纂)

皇太子御

太子御

前年

二仲

二仲官祿... 六月... 皇太子御... (Main handwritten text in vertical columns)

大隈重信侯爵編纂 (Faint background text in vertical columns)

找子

耶和英人、報害之及、小可伸、存三、獲、
朝、之、義、中、入、之、受、方、之、可、致、三、下、方、中、入、
之、子、何、之、所、一、最、早、時、職、之、進、之、有、利、之、
別、求、如、之、朝、六、及、中、之、吏、之、保、亦、亦、
地方官刑法、彈、其、甚、重、子、配、命、令、之、以、以、
子、之、中、力、至、之、仍、如、之、也、

十一月廿四日

大隈之議做

美美

(大隈重信侯傳編纂會)

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

(大隈重信侯傳編纂會)

找

此位即如幕中兵使在臺議交際費
上之各人、自今年西至午五、田荒法內、下
賜金銀、對、差、米、一千四百、米、苦、均、加
亦有、及、及、不足、付、米、十、年、而、更、
三千、四、均、所、以、我、其、向、一、法、在、也、而、米、也、且、雅
樂、課、經費、金、十、二、明、治、十、年、九、月、十、一、年
六月、迄、全、七、千、八、拾、百、之、於、之、三、層、即、十、二、年、
年、音、田、一、月、割
之法、決定、之、為、及、退、之、申、入、於、通、以、保、之、而、所、知、
永、續、而、用、之、動、者、無、之、先、日、出、而、示、之、均、之

天...重信侯傳編纂會

大坂水鏡

天...重信侯傳編纂會

大坂水鏡
+ / 五十五
sent to you - 6/20/10
...

天...重信侯傳編纂會

大隈重信侯爵御書
此係大隈重信侯爵御書之影印。其內容係關於大隈重信侯爵之遺囑及大隈重信侯爵之遺囑之執行。其內容係關於大隈重信侯爵之遺囑及大隈重信侯爵之遺囑之執行。其內容係關於大隈重信侯爵之遺囑及大隈重信侯爵之遺囑之執行。

其內改革之致申置其子細
力之少系少々々六千五百圓增加今爲五萬
五千圓、福赤堂、探是亦連了、評決十、年
々度右取取極其多其仍、及、内陳也
六月十日言
實則

三條云

岩倉公

追叙祖業謀經費之義、は指揮、は表面
上申、は、也

10-10-10
川

大正十一年

張

...

(大正十一年)

大正十一年
井三弟云手致

二十四

...

...

(大正十一年)

...

(大正十一年)

板了

大久保大義以洋行被仰有上吉大義者之受
井出輔身任無益之同者之事務其年之
就事同人義能之納得不世少者其如河之懸念任
此明之評議之身之相之得也并上之議論と之
辨也其通之可者之官也其相及合其傳之標程
其志以有者之官也其相及合其傳之標程
其志以有者之官也其相及合其傳之標程
其志以有者之官也其相及合其傳之標程

大久保大義以洋行被仰有上吉大義者之受
井出輔身任無益之同者之事務其年之
就事同人義能之納得不世少者其如河之懸念任
此明之評議之身之相之得也并上之議論と之
辨也其通之可者之官也其相及合其傳之標程
其志以有者之官也其相及合其傳之標程
其志以有者之官也其相及合其傳之標程
其志以有者之官也其相及合其傳之標程

(罕餘白)

川崎V.V.O.K

11-10

川崎V.V.O.K

様了

本年 日魔島縣より吉寧灣の生蕃
 我琉球ノ漂民ヲ^暴殺殺ルノ事状ヲ奏
 上ス其暴行可惡宜ク急^之カ罪ヲ問フヘシ
 雖然生蕃ノ地タル本^清國ノ所轄ニ屬ス^清國
 此ノ七状ヲ聞ク必ス當ニ我ノ為ニ之カ罪ヲ攻
 ノ其處分ヲナスヘシト而ノ今既ニ幾月ヲ越エ
 未ク何等ノ處置ナルヲ聞カズ 抑兩國好ク
 修スルヤ互ニ其人民ヲ保護シ永ク信義ヲ
 敷クセント欲スルナリ然ルニ今如此甚ク之ヲ

怪々依テ近日欽差大臣ヨリ遣レ大塔ノ賀ヲ付ルル
 (大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
 此ノ七状ヲ聞ク必ス當ニ我ノ為ニ之カ罪ヲ攻
 ノ其處分ヲナスヘシト而ノ今既ニ幾月ヲ越エ
 未ク何等ノ處置ナルヲ聞カズ 抑兩國好ク
 修スルヤ互ニ其人民ヲ保護シ永ク信義ヲ
 敷クセント欲スルナリ然ルニ今如此甚ク之ヲ

大隈重信侯傳編纂會
 (44-45)

持了

大元者長官洋行 百有同者之義を序
 別々所安のしより百有識中 西口氏少中
 掛請作付交大輔方しや益者し 於下作も因異
 論無之れ官法異儀無之つて 今口は向法は不
 計有之れなり
 一置分は出さし 境嶋おホリス者し 由光を
 在事府右側し 規則元大元者ノ 乃費出方し 掛
 左外も備府知参る 於此し 同感し 趣い者し
 今氣ま由大元者ノ 東隣 隔所承 右ホリス

(天保重信侯傳編纂會)

大元者長官洋行 百有同者之義を序
 別々所安のしより百有識中 西口氏少中
 掛請作付交大輔方しや益者し 於下作も因異
 論無之れ官法異儀無之つて 今口は向法は不
 計有之れなり
 一置分は出さし 境嶋おホリス者し 由光を
 在事府右側し 規則元大元者ノ 乃費出方し 掛
 左外も備府知参る 於此し 同感し 趣い者し
 今氣ま由大元者ノ 東隣 隔所承 右ホリス

(天保重信侯傳編纂會)

天 啓 元 年 十 月 方 音 有 必 快 勇 有 勇 有 勇 有 勇 有 勇
 大 隈 重 信 侯 傳 編 纂 會
 (天 啓 元 年 十 月 方 音 有 必 快 勇 有 勇 有 勇 有 勇 有 勇)

我 公 從 來 一 行 掛 熟 知 一 箇 一 子 百 今 更 人 數
 着 一 上 得 是 在 極 多 中 亦 先 不 都 在 一 子 之 以 向
 孰 也 之 一 至 急 一 決 着 一 探 師 下 知 有 一 者 尚 後
 刻 方 一 箇 隔 山 水 一 箇 一 箇 不 備 一 箇 方 音 有 必 快
 大 隈 重 信 侯 傳 編 纂 會
 天 啓 元 年 十 月 方 音 有 必 快 勇 有 勇 有 勇 有 勇 有 勇
 (天 啓 元 年 十 月 方 音 有 必 快 勇 有 勇 有 勇 有 勇 有 勇)

才了

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The characters are small and difficult to decipher.

(天保重信侯傳圖卷四)

仕至名歸痛中付了方可托初到嶋也之考之
筋有之由之自厚而申談者之節了將亦原謀四
割減之裁出布先事史在而中在之系稿也
認、採出有斗有教中其様又大坂大寺子木島
長崎知子尋人撰出評議者之到於此裁所
古之係談置、官同人承書、官出談可修、信
不美、自玉急用可而已、事終斗、官出裁計
於乃也

十月十二日

二俾復也痛之裁三十名之考、外改心之者

找

大隈彦藏殿

宗三

一月十日

要子如札中力
以交幼穉難步 運奉多人 蒙以新善幼
或強談時 三千金 調金為新小起也
承 坂古造 年一 可 其成 而 調古 勢 其 下 作
自 承 宗 三 以 味 有 之 意 仍 內 中 力 也

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈彦藏殿

宗三

要子如札中力
以交幼穉難步 運奉多人 蒙以新善幼
或強談時 三千金 調金為新小起也
承 坂古造 年一 可 其成 而 調古 勢 其 下 作
自 承 宗 三 以 味 有 之 意 仍 內 中 力 也

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信

For work

1871

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a letter or document.

大隈重信

實業

大隈重信

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a letter or document.

十二月

抄了

予知今年城氣所由由讀下と向し付
 于城至後孝子に於て失禮有し義に
 可し却換を乞ふ可し共之に極
 實に有し山内外に友を利力可然に能
 と柳山山形系能其に禮意は法有し
 部大捕異言誠し是し其に平中現後
 し個居去る子取る去るに標法通道有
 少部、仍中しめしめしや
 十二月九日

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈水城家
 山形系

(大隈重信侯傳編纂會)

十一日 草

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or report, written in cursive style.

(大隈重信侯爵書翰)

大隈重信侯爵

Handwritten text in vertical columns, continuing the letter or report, written in cursive style.

找丁

殊怯係大... 拘山縣再動... 於思
 慮... 交... 人... 道... 追... 系... 議... 在... 諸... 者
 系... 動... 論... 在... 聚... 以... 必... 回... 係... 中... 以... 異... 論
 可... 有... 之... 房... 批... 中... 且... 於... 山... 和... 以... 所... 誰... 以... 請...
 以... 今... 敷... 之... 義... 之... 思... 念... 之... 所... 在... 實... 以... 山... 縣...
 中... 出... 通... 信... 傳... 達... 用... 之... 亦... 山... 縣... 中... 將... 手... 助...
 勤... 以... 報... 作... 有... 之... 義... 之... 所... 在... 實... 以... 山... 縣... 中... 將... 手... 助...
 中... 出... 共... 伴... 同... 心... 共... 勤... 之... 可... 成... 見... 近... 矣...

(大隈重信侯爵墓會)

大隈重信侯爵墓會
 (大隈重信侯爵墓會)

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a letter or document. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border.

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, continuing the transcription. The text is written in a cursive style and is contained within a rectangular border.

子あゝ不傷

四丁丁

二伸余議告若二兼勤一儀西江江都會次

Handwritten mark or characters at the top of the page.

11. 信源不若...
Guo E 10

一、... 23. ...
... 24. ...
... 25. ...
... 26. ...
... 27. ...
... 28. ...
... 29. ...
... 30. ...
... 31. ...
... 32. ...
... 33. ...
... 34. ...
... 35. ...
... 36. ...
... 37. ...
... 38. ...
... 39. ...
... 40. ...
... 41. ...
... 42. ...
... 43. ...
... 44. ...
... 45. ...
... 46. ...
... 47. ...
... 48. ...
... 49. ...
... 50. ...
... 51. ...
... 52. ...
... 53. ...
... 54. ...
... 55. ...
... 56. ...
... 57. ...
... 58. ...
... 59. ...
... 60. ...
... 61. ...
... 62. ...
... 63. ...
... 64. ...
... 65. ...
... 66. ...
... 67. ...
... 68. ...
... 69. ...
... 70. ...
... 71. ...
... 72. ...
... 73. ...
... 74. ...
... 75. ...
... 76. ...
... 77. ...
... 78. ...
... 79. ...
... 80. ...
... 81. ...
... 82. ...
... 83. ...
... 84. ...
... 85. ...
... 86. ...
... 87. ...
... 88. ...
... 89. ...
... 90. ...
... 91. ...
... 92. ...
... 93. ...
... 94. ...
... 95. ...
... 96. ...
... 97. ...
... 98. ...
... 99. ...
... 100. ...

平漢合有... 禮... 日... 備... 升... 了... 日... 係... 中
明... 評... 儀... 可... 也... 我... 是... 延... 列... 有... 之... 委... 山... 中
不... 面... 價... 全... 謝... 却... 否... 之... 決... 定... 以... 明... 能... 述... 大
久... 保... 之... 漢... 上... 可... 大... 時... 有... 夫... 子... 貴... 禮... 足
大隈重信侯傳
由振

大隈侯

大歌集

115-10

100-100

Handwritten text in cursive script, likely a list of items or names, including characters like '大', '歌', '集', '大', '歌', '集', '大', '歌', '集'.

(大隈重信侯爵御遺書)

115-10

Main handwritten text in cursive script, containing several lines of text, including characters like '大', '歌', '集', '大', '歌', '集'.

大歌集

(大隈重信侯爵御遺書)

找丁

因安以既而丁乃其昨日升上大輔及西復中
 降其古名也之之也院二執事一任且下之案
 之通推下官之同端令之能裁之而之可矣都
 令之宜之官也極其大能大輔之工任下也
 之之也之務之也多難地也方之也家也
 何之之也令之也之也之也之通也也之也
 氣服也實也通也極其於也院之加保道渡也
 却印之也之也之也之也之也之也之也
 合也之升上也之也之也之也之也之也

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳
 卷之十
 大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in the right column of the right page, possibly a translation or commentary on the left page. The text is written vertically from top to bottom.

外指上可資能之新免之命者多一宜多終不
大難節會計之識之在治也。外則其困難
致。官先今日之象。亦奉職階。抑一設說端
抑之更極。為每。須。即。亦。亦。亦。亦。亦。
今日之未政府之權力。計。制。御。路。多。多。多。
難。本。能。慮。路。多。多。多。多。多。多。多。多。
勸。考。考。考。考。考。考。考。考。考。考。考。考。

六月十日

大隈重信侯

實三夫

大野山園

山園

大野山園

Handwritten cursive text in Japanese, filling the page from right to left.

内張

Handwritten cursive text in Japanese, filling the page from right to left.

找

以上各條... 弥... 考... 表... 有... 大... 之... 心... 萬... 取...

(大隈重信侯傳編纂會)

田...

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically from right to left across the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

山本

以上無終之空論其意乃甚固乃其
言之者乃偏見其意一居力其意
其仍以此段中力其意、實幸乃也

二月廿九日

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯

日投

宣其美

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically from right to left across the page.

找丁

有用至密以昭信中外信之証乃在油紙
 之儀之稿也 由信傳中乃知有五丁一為
 中外之言也 外國之信乃知有一一
 之不便也 他日之弊 二書何之為之
 以亂外之我之禍 百極之者 信說之
 乃知外之信矣 一為知之者 以
 國之信也 有之 紙卷之受也 一為
 又國信也 亦有之 一為知之者 存
 乃台也 亦有之 一為知之者 存

(天限重信侯傳編纂會)

天限重信侯傳編纂會
 1545
 天限重信侯傳編纂會
 天限重信侯傳編纂會

Handwritten text in a vertical column, likely a letter or a page from a diary. The characters are in a cursive style, possibly a mix of Chinese and Japanese characters.

Handwritten characters at the top of the page, possibly a date or a section header.

Large block of handwritten text in a vertical column, enclosed in a rectangular border. The text is dense and appears to be a formal document or a significant entry.

成子

仍由一めけ也
 今新千字文を新く撰りて
 外務省に法蘭西使節に
 出たるに先見の如く
 此の書は先づいふべき
 事なり。此の書は先づいふ
 べき事なり。此の書は先
 づいふべき事なり。此の
 書は先づいふべき事なり。

(天保重信侯傳編纂會)

大坂の町に
 住む人
 ありけり
 其の
 名は
 山田
 五郎
 左衛門
 尉と
 申す

(天保重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or document. The characters are in a cursive style.

仍由一めけ也

二月九日

大隈重信

大隈重信

Main body of handwritten text in vertical columns, continuing the letter or document.

一月十日

四七

二 伸明白、其臺灣、許謙之、奇
 妙、務以、活列、婿、未、め、有、在、其、中
 或、勉、考、者、也、也、也、
 所、信、信、信、有、其、然、之、定、念、心、公、糧、積、
 之、徒、干、身、一、人、之、徒、得、之、不、就、字、之、慚、愧、也、
 之、之、其、系、之、係、保、保、之、白、め、也、也、也、也、也、也、
 二 概、分、可、失、之、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 之、分、助、考、者、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、
 一月十七日

(大隈重信侯傳編纂會)

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible due to fading and ghosting)

找

亦法儀方是之然主福利而調評議
 之義下及可考也引其本也據之
 其剛之六天據古勳其教也中與初之官
 系院於今評議と遂之申其初也者
 定額之教之形調也初也今之申也
 出之有之也其者之是也之者之也
 其者之也其者之也其者之也其者之也
 其者之也其者之也其者之也其者之也
 其者之也其者之也其者之也其者之也

少

少

大隈侯

少

Dear Sir

Dear Sir

Received your letter of the 14th inst.
 regarding the matter of the ...
 and in reply to inform you that ...
 you will find the same ...
 and also that the ...
 and also that the ...
 and also that the ...
 and also that the ...
 and also that the ...
 and also that the ...

(大隈重信侯爵御書)

大隈重信

十二月十日

大隈重信

(大隈重信侯爵御書)

残了

宗右衛門公守

償金一俸大久保お台の上先以別代岩倉
由面通取極大守大段下進下也

十二月十丁

大隈敬

大隈敬
即時償金に法外少弁上傷バンクニ願ケ望ミ
法外少弁上傷バンクニ願ケ望ミ
法外少弁上傷バンクニ願ケ望ミ

(以下切形紙面ナシ)

(大隈重信侯傳編纂會)

(大隈重信侯傳編纂會)

大歌集

十一三十一

2nd look

昔の日本は海に大敵ありしが
今は海に大敵ありしが

(大隈重信侯傳編纂會)

(山本辰公守録)

お敵々野良、大久保忠信、
後、浪舟七、博見、荒増、左、
大体之和進、博見、評儀、上、
即時、懐金、法、少、命、上、海、
小右、大、之、信、右、録、子、
法、所、方、と、命、去、抵、
法、所、方、と、命、去、抵、

(以下切斷紙面ナシ)

成

(大隈重信侯傳編纂會)

(大隈重信傳書)

既云

○ 此等之文、在出處、其意、皆在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、
○ 其、意、亦、在、其、所、在、之、處、

(大隈重信傳書)

(大隈重信傳書)

(大隈重信傳書)

別、別、連、假、湯、之、義、表、面、其、節、目、之、相、違、其、義、
今、假、法、以、來、其、趣、之、旨、史、官、亦、相、違、其、旨、也、
別、紙、陸、軍、部、方、之、立、本、其、旨、亦、相、違、其、旨、也、
機、密、事、件、亦、從、其、旨、也、其、旨、亦、相、違、其、旨、也、
其、旨、亦、相、違、其、旨、也、其、旨、亦、相、違、其、旨、也、
以、一、時、一、月、公、使、難、去、未、現、今、其、旨、亦、相、違、其、旨、也、
用、就、非、常、費、ト、レ、テ、金、拾、五、萬、圓、大、是、者、於、
大、是、者、御、敬、度、大、是、者、御、敬、度、大、是、者、御、敬、度、

明治九年一月七日

成丁

大野院敷

一月六日

伏見

昨以右ノ如左ノ次第
檢校御年古宮御所ノ御
御及御殿ノ如左ノ御
御及御殿ノ如左ノ御
御及御殿ノ如左ノ御
御及御殿ノ如左ノ御

(大野院敷御所)

陸軍部山縣有朋

(大隈重信侯傳編纂會)

別途金額所送五年及旨上申

今般特命全權兼理大臣朝鮮國、被差遣ハ、付
而、御内沙汰之品、有之、如、付、於、當、者、臨、時、調
整、可、致、物、品、數、多、ハ、分、夫、々、急、場、差、手、及、日、々
仕、拂、ニ、差、臨、少、本、年、定、額、以、減、少、ハ、付、同、額、ハ
以、一、時、操、修、之、儀、難、出、未、現、今、甚、差、支、ハ、付、右、費
用、宛、非、常、費、ト、シ、テ、金、拾、五、萬、圓、大、花、者、於
テ、別、途、假、渡、土、成、度、ハ、段、相、同、也

明治九年一月七日

裁部

照得... 陸軍卿山縣有朋
大政大臣三條實美殿

(大隈重信侯傳編纂會)

陸軍卿山縣有朋
大政大臣三條實美殿

大藏大目三對寶長
 新軍賦七集自所

(大藏大目三對寶長)

大藏御啟
 至急親展

宗美美

用途... 不體裁... 我... 宗美美

(大藏重信侯傳編纂會)

成了

甚下氣焉極矣其不代可謂有新
 內外以漢謀之位置人負事少等實際
 今日由談話致慶矣拍人尋同其意不互
 其所以向所概略在陳述任其務明自
 身之西居其意於今度可從定能其意以
 其多其舉之改革之者自其意而之其向
 用途之為及不體裁之我出來其有不
 宜。我其心配任仍而所之任其任其任
 調其任其任其任其任其任其任其任其
 任其任其任其任其任其任其任其任其

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳
 大隈重信侯傳

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written vertically in Japanese characters.

(大隈重信侯傳編纂會)

甚下氣妻極密抄者代り可調取新反
内外更諸少謀之位置人員多少尋實際
示却分年七探大凡見込有之計百并豫定
有之方偏ニお取アおのり子定額也了り上
心百七控豫難有本年与と者お思ひ起り中於

叫

星市抄也

九月下

亥了未

大隈 殿

11100

大隈侯

大隈侯

大隈侯

大隈侯

大隈侯

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a letter or document. The text is written in a cursive style.

別我之函市本官為心得中其系
能立坂下百系又為之方可於何尔

大隈侯

大隈侯

大隈大臣殿

大隈大臣殿

此項由心而發，故其言必切，且其言必直，此其所以為忠也。

大政大臣

後改

今此言，粗率極矣，如平人甲大台法門，言而行之，故
其強壯中張，越何者，其不為多，其有捕縛之致，
必手余之，打取也，雖中治亦不中矣，中切大台法切
內，其捕縛之核，小不中，片也。

二月十八日

大政大臣

後改

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a short story. The characters are dense and difficult to read due to the cursive script.

(大隈重信侯傳編纂會)

淡也古愁のこり少と存及高成上し平直賢
重園候有執筆中は左中下星成ゆゆ也

七月十日

大隈重信侯

四郎

字久三

大隈重信侯

二神書信し信紙無決め是なり

山内いす板垣、大隈重信侯、大隈重信侯

(大隈重信侯傳編纂會)

找丁

廿

今日正午掛刀希之義中力亦少助松來吐馮
 臥禱居身言今日來能、不皮中少如子我
 運^般頭遺憾子、如病、椰子、梅、亦不明り
 右、他出、少、付、今日、足、下、右、少、讀、亦、於、同、人、
 考、七、馬、与、少、少、里、玉、局、也、是、也、
 大玩書至到讀、於、乃、也、
 二件書、於、之、信、歎、失、神、海、也、是、也、
 山、野、し、子、板、垣、へ、中、大、岩、於、同、人、右、即、讀、亦、

(大隈通信侯傳編纂會)

大新心段案
 山、野、し、子、板、垣、へ、中、大、岩、於、同、人、右、即、讀、亦、
 大新心段案
 山、野、し、子、板、垣、へ、中、大、岩、於、同、人、右、即、讀、亦、
 山、野、し、子、板、垣、へ、中、大、岩、於、同、人、右、即、讀、亦、
 山、野、し、子、板、垣、へ、中、大、岩、於、同、人、右、即、讀、亦、

(大隈通信侯傳編纂會)

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a letter or document. The text is written in a cursive style (sōsho).

少白宣希乃

大隈重信侯傳

宣希乃

Multiple columns of handwritten Japanese text, including the signature '大隈重信侯傳' and '宣希乃'.

找

文部省定款... 我... 井上大輔... 可... 右大輔... 口... 可... 之... 尤... 小...

Handwritten notes on the right page, including the name "大隈重信侯傳" and other illegible characters.

Handwritten Japanese text in a vertical column, likely a transcription of a document. The characters are written in a cursive style.

Handwritten Japanese text in a vertical column, enclosed in a rectangular border. The text is written in a cursive style.

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically in Japanese characters.

(大隈重信侯傳編纂會)

九月十三日

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically in Japanese characters. A large character '大隈の敬' is written in the middle of the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or document. The characters are in a cursive style.

(大隈重信侯傳編纂會)

二 古者乃以方之我龍能而古大木之受其
後論古我中作諸者定額之華士族
福利之之壽之是邦是下出如古來之
夫占之定跡 柰予之之甚苦心作
仍右印已中陳而由之 吾甘其也
十月十五
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

二 仲大机書

別讀所形

找

此情願左學... 報之... 取十一字... 義之... 法之... 而可... 法任... 其官... 十...

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳... 大隈重信侯傳... 大隈重信侯傳...

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a document. The text is written in a cursive style and is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text at the top of the page, possibly a page number or a small note.

Handwritten text in vertical columns, including the title '大隈重信侯傳' and the author '大隈重信侯傳編纂會'. The text is written in a cursive style and is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

大隈重信侯傳

大隈重信侯傳編纂會

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a letter or document, written on a grid background.

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a letter or document, written on a grid background.

十一月十日

大隈侯殿

内閣至

明治五年

找子

不順之時天之所交豈怪通大智其然也
 口因語物之升上屬之我無慮處修之
 日人之我之付身之同條中一之進之相儀
 此有之虛心平氣之今臨之難至強其處
 以之可之法其如之必之且其設物在
 生所法一定之如何之而於就之在回人我
 身後中失誤之知也修為之功也亦
 不難之其我以其利能也此亦為用之
 物之為也格家之識之為也亦與物也

大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會
 大隈重信侯傳編纂會

Handwritten text in cursive style, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in approximately 12 vertical columns.

(大隈重信侯傳編纂會)

以以

土木は以申 諸君命は 抑之下 并陸奥 秀嶋
等分書初、**爲**之 連言 有歟、 而左 如河成
左に於 於地 有し 粘之 議論 可以 以 途 因 談
之 亦 却 而 不 之 登 能 と 馬 抄 中 公 先 小
以 如 中 乃 尚 篤 与 勘 辨 有 し 意 人 亦 不
不 備
大隈重信侯傳編纂會

大隈重信侯傳編纂會

山文之美

找)

大元者之念、直集秀島西人之音塔、
 了百果談合、其為大之係、我相命、
 因群路、其得其、推、予、予、其、其、
 其、議、之、之、之、之、之、之、之、之、
 大元、之、之、之、之、之、之、之、之、
 職、主、主、主、主、主、主、主、主、
 誰、以、以、以、以、以、以、以、以、
 之、之、之、之、之、之、之、之、
 裁、之、之、之、之、之、之、之、之、

(大隈重信侯傳編纂會)

大元者之念、直集秀島西人之音塔、
 了百果談合、其為大之係、我相命、
 因群路、其得其、推、予、予、其、其、
 其、議、之、之、之、之、之、之、之、之、
 大元、之、之、之、之、之、之、之、之、
 職、主、主、主、主、主、主、主、主、
 誰、以、以、以、以、以、以、以、以、
 之、之、之、之、之、之、之、之、
 裁、之、之、之、之、之、之、之、之、

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

找

不勝之時令... 仰光者乃... 俾元來民部大臣... 其以評議... 實不得止... 議論也... 香出... 一場合...

大隈重信侯傳

Handwritten text in a vertical column, appearing to be a transcription or a separate entry, possibly related to the main text on the left page.

大隈重信侯傳

... (Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side) ...

...

七月三日

寅美

大隈氏新大輔殿

...

大觀尺牘大卷象

大觀尺牘

大觀尺牘

(大觀尺牘新編卷一)

